鳥海讃歌

ＧＴＨ通信　第５７号　令和３年１２月１５日（水）
校長室より

あかりをともす！

いよいよ冬本番となります。来週２２日(水)は冬至、日暮れが早まり、心が暗くなる季節です。「秋田の湘南」と異名をもつ「にかほ市」ですが、低温と積雪による事故には、くれぐれも注意しましょう。

にかほ市の御厚意により、正門脇に「待避所」が誕生して１年が経過しました。今秋には、アスファルト舗装を施し、整備していただきました。皆さまには、「ありがとう」の「感謝」の気持ちで「利用」していただきますよう、あらためてお願い申し上げます。

あわせて送迎時に、正門前の渋滞と事故や交通障害など、不安快適な保護者の整備のにと安全確保」かた待避所のお持ちの皆さまの心・安全の知お前ナ停付近を含む自活用をなるのを、御承正マ遵守する姿勢に、適ます。「こと協力で、ルーナーを近車の感謝申し上げます。

１１月末に、ほかにかほ市職員がこの活用状況を調査してくれました。そのとき、両ほ付近の待避所の暗い皆さまと共に情報を共有し、感謝「あかりをともす」の走行灯が正門から生徒昇降口に向かう動線に、設置師の灯が光に見守られる箇所に加え、増設帰宅停止を照らしてくれます。

昨年度からＬＥＤライトの設置は、生徒の皆さんの気持ちを少し明るくしたいという願いを込めた「ささやかな贈り物」です。普段の冬期間だから、暗い「あかり」のありがたみです。

ところで、皆さんの心に「あかり」はともっていますか。私は、「暗い不平を言うよりも進んであかりをつけましょう」というフレーズを常に意識して生活しています。人間には「喜怒哀楽」の感情があります。面白くないことがあると、イライラしたり、周りが見えなくなったりします。そんな時私は必ず、「深呼吸をして、笑顔でにっこり」を心がけています。

自分の思い通りにならないことは、よくあることです。必ず相手がいるのですから、不平や不満、イライラの状況は、相手も察知しています。心の『「あかり」をともす』とは、心を落ち着かせて、相手の気持ちになって考えたり、寄り添ったりすることです。自分が落ち込んだり悩んだりした時、マイナス思考に陥った時は、家族や先生方、友人の励ましの声や寄り添う姿を思い浮かべてください。一緒に悩み、気持ちを共有してくれる人の存在が、あなたを助けてくれます。

皆さん一人ひとりが隣人に気づかい、心に「あかり」をともしましょう。心にあかりがともったら、仁高生の未来に幸いが待っています。

★　**アイコンタクト（ｉｃｏｎｔａｃｔ３）**を心がけてください。目と目で通じ合い、face to face で向き合いながら、「考えながら行動する」笑顔の素敵な人間たれ！
★　**メモ**をとる習慣を確立しましょう。生徒手帳をフル活用してください。メモをとる習慣は、将来必ず役に立ちます。
★　**意識力**＝意思・意志（瞬間）＋気力（持続）です。意識力を育成することで、学ぶ力が増幅します。考えたことを継続してやり抜きましょう。
★　**ＧＴＨ**は、「疑問→探究→発見」という学びの方程式です。
★　**「自己有用感」**を高めてください。そのためにあなたは何に挑戦しますか？
　自分が誰かの役にたつためには、**感謝**の心と**自己肯定感**を持つことが大切です！
★　**ＮＰＴ**は仁賀保高校プログラミング思考の略称です。ＮＰＴを意識して、学びを活性化しましょう。プログラミングは、**Trial＆Error**で進めましょう！
★　**「自分事」「当事者意識」**を持って取り組む仁高生に変身しましょう！